

事務事業名 道路パトロール事業（緊急雇用）

政策:01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策:01 道路網の整備・充実

部名:都市建設部

課名:土木課

基本事業:02 生活道路の整備と維持管理

計画年度	平成21年度 ~ 平成23年度		事業区分	継続	会計区分	普通会計
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
生活道路（1・2級以外）	1級・2級路線については、現在もパトロールを実施しているが、それ以外の住宅地等に隣接する道路の老朽化等により、住民からの苦情、修繕依頼が増加している。この現状を是正するため、新たに現在まで実施していなかったそれらの道路パトロールを実施することにより、住民へのサービスの向上を図る。					
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	適正な道路の維持補修を行い道路の機能を保全することで、通行者の安全が確保されます。					
4 活動指標・成果指標・事業費の推移						
区分	指標名称	単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	年間パトロール日数	日	-	161	240	-
活動指標						
成果指標	道路パトロールによる不慮箇所発見数	件	-	95	120	-
成果指標						
事業費		千円	0	1,092	2,226	
うち一般財源		千円	0	0	0	
5 目的妥当性						
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い			道路の維持補修は、本来の事務であり、市が関与することは妥当である。			
6 上位の基本事業への貢献度						
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業			道路の機能を常に良好な状態に保全することで、通行者の安全性と快適性に貢献する。			
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討						
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他			市道生活道路を対象としているため見直しはできない。			
8 有効性（成果状況）						
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない			95件の道路不良箇所を早期に発見することができ、成果はあがっている。舗装の経年劣化が進んでいるため、成果向上余地は大きい。			
9 有効性（成果向上余地）						
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し						
10 事業の再編成						
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない			1級・2級路線については、現在もパトロールを実施しているが、千葉県緊急雇用創出事業の補助事業の採択条件で別事業として事業化するため再編できない。			
11 効率性（コスト削減の方法）						
ある ない			なし			